

もっと若葉台を

第13回

「チャレンジャー」

温泉はお好きですか。日本の温泉は世界的に有名になっているそうです。ドイツ・イタリー等ヨーロッパにも古くはカラカラ浴場とか、クアハウス・ジャグジーなどが有るそうですが温泉と一緒にしてもらっては困ります。

個人的には白骨温泉に有るような、無人で湯壺の掃除もしていない河原に放置されたような、濃い緑色の硫黄泉が好きです。バスクリンでは薄青色の「加賀の湯」が好きです。

若葉台の？温泉「横浜温泉チャレンジャー」(足立ホームで営業)はナトリウム塩化物泉(昔風に言えば食塩泉)で、掘削深度 1,500m 揚湯量 86L/min 無色透明 45℃と、なっている。実際にはやや黒みがかかった感じでした。効能は、神経痛・打ち身・くじき・疲労・やけど・慢性消化器病・婦人病と有り難さが冷めてしまう位に何にでも効くと書いてあります。



チャレンジャー改修前の浴室

十数年も昔では、横浜の温泉は綱島温泉位しか無かったと記憶していますが今はどうでしょう。スーパー銭湯や運びの温泉「万葉の湯」なども進出しています。ちなみに東京にはここ数年で異常に増え四十数件の天然温泉が有るそうです。最近掘削申請にも許可を出さないと云う話らしい。

チャレンジャーの営業は 6 年に始まり、以前は男女一日おきで「股ぐらの一穴二玉で、奇数日が女性日・偶数が男性日」と覚えましたが、12 年の改修後は毎日営業しています。営業時間は毎日 7:00-23:00。

サッカーの子供達も試合後集合したりします。一度も行っていない方は、話の種にいてみよう。